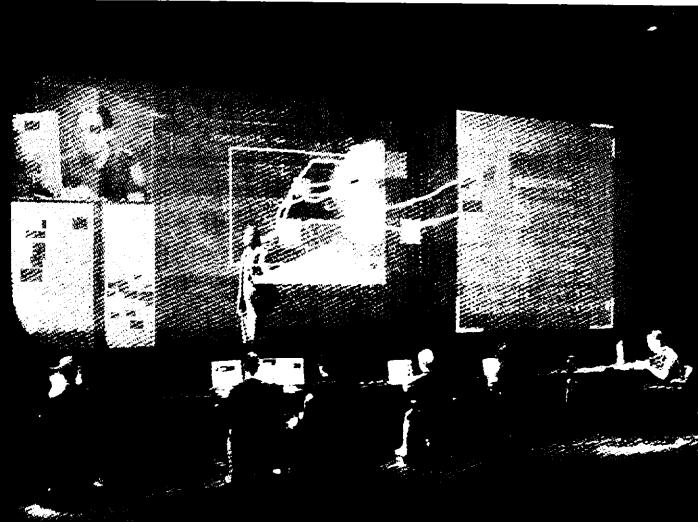


# グローバル経済下の情報危機はここまで来た。 痛烈で洞察に富むマルチメディア・シアター登場

「Super Vision」 The Building Association & dbox  
BAM Harvey Theatre / NEW YORK  
(BAM 2005 Next Wave Festival)  
11/29.30, 12/1, 2, 3, 2005



人類歴史至上最大の軍事金権帝国アメリカ合衆国の頭取、ブッシュ大統領が「生け捕りでも、死体でも」と探しまくっているオサマ・ビン・ラディンは、最新のグローバル探知機にもひっかかる、ヒマラヤ山脈近辺で仙人のように山を渡り谷を渡り洞くつの中で生息しているという。これは国際的にも予想外の事態だろう。今や、最新鋭の高性能デジタル通信を持ってして当局政府から逃れられる術はないはずだからだいわんや、むやみやたらにネット購買しまくったり、お気楽に携帯アンケートなどに答えてるアンボンタンなやからなぞは、その個人情報がいつどういう形で盗まれ、まったく予想外の人生の転落に向かえてもおかしくはない。その昔SF小説の始祖ジョージ・オーウェルが「1984」に描いた超大国家の統治者「ビッグブラザー」

上げた秀作であった。舞台上に織り成される3ケースは：

その1：ウガンダ共和国出身のインド系国際若手ビジネスマンが、アメリカ国内のパスポート検査窓口で、いちいちひっかり、出張で立ち寄る各都市空港で執拗な検問が繰り返されるうち、とうとうパスポート検査官がそのビジネスマンの情報を何から何まで入手し、個人識別の指紋捺捺する度、見ず知らずの検査官達から「最近カナダに住む叔母様が亡くなられたようで。御愁傷様です。」とか「ニュージャージーです。ぶんとお買い物を楽しめたんですね。」とか、「あなたの年令身長体重にしてはコレステロール値が高すぎますよ。」とか声をかけられ、茫然自失する。

その2：ニューヨークに住む若い女性が、スリランカ

に住むボケかかった祖母のため、ウェブカムでコミュニケーションをはかる。祖母のアルバムの写真をスキャニングして送り、なんとか祖母の正確な記憶を再構築しよう試みる。そしてかつてのイギリスの植民地政策へのノシルジーや現代の地球規模のアメリカ合衆国メディア広告文化戦略力を観客に匂わせてゆく。ちなみに孫娘役を演じた女優は、昨年のルー・リードやディビッド・バーンをかり出して行われた津波義援金バーフォーマンスイベントの仕掛け人である。

その3：アメリカ都市部郊外に住む白人中流階級の幸せそうなリビング、ダイニングキッチン。ビデオプロジェクトされる金髪の快活な少年と、その両親役を演ずる実際の舞台俳優達。一見、温和で聰明そうな父親だが、幼い息子の名義で次々に新しいクレジットカードをつくるゆき、自分のコントロールのきかないところで雪だるま式に借金が膨らんでゆく。深刻な社会問題になっている個人情報漏洩、窃盗が実の親子間で生じ、癌細胞のように若い浪潮とした健康体のような平和な家庭を蝕み、破滅へと導いてゆく。

複数の場面を舞台上の一つの時間ベクトルで進行交錯させてゆく脚本スタイルは、国際石油ビジネスの陰謀と超大国家の汚職をシャープに且つ力強く描いた映画「シリアナ」のアカデミー受賞シナリオ作家、スティーブン・ガガーンの手法と同じである。地球規模の金権政治とデジタル通信技術への鋭い洞察力、そして人間の根源的欲望を、軽やかな笑いと哀しみの劇的空間へと様々な人間模様を織り成し、一つの物語を作り上げる。また舞台構成は、観客に背を向けてデジタル・アーティストたちがコンピューターに向かって座り、その向こうのビデオプロジェクションの中で俳優達がマルチメディア・インテラクティブ・シアターを生み出していく。

さて最後に蛇足だが、オサマ・ビン・ラディンが本当にまだどこか自然状況の過酷な場所で生き延びているのであれば、国際石油ビジネスと蔽着しきった腐敗そのものの現ブッシュ政権「ビッグブラザー」下では捕まらないほしいものだ。

高橋葉子（インディペンデント・キュレーター／ニューヨーク在住）

## INTOWN

スター誕生か。

■スティーブ・ジョブスがウォルト・ディズニーの取締役の一人になる、と旅先で読んだ経済新聞が報じていた。ジョブスが作ったもの…人に優しいアップルII型コンピュータ、3次元アニメのハイオニアとなったピクサー社、アイマック、そしてアイポッド。画像掲載アイポッドでは昨年の発売以来すでに800万本の映像ソフトを販売したそうだ。そして今、ディズニーの現会長と仲良く手を握り会う。ジョブスがそういうふうに社会のパソコン化に道を開いてきた約20年間に、では、パソコン化が壊して来たものとは何だろう。生活文化への管理と破壊は、どこまでどのように突き進んでいるのか。人類の福音となったあらゆるテクノロジーは、程度の差はある、おおむね毒を持ち合わせているのだ。ニューヨークのビルダー・アソシエイションが「スーパービジョン」という興味深い弊句を放つことを、高橋葉子さんがレポートしてくれた。（JI）

■2月10日 アートネットワークジャパン主催の「東京国際芸術祭」開催。にしづかが創造舎にて記者会見。2月10～3月17日。ホームページ <http://www.tif.anj.or.jp> を参照。ディレクターの市村氏の目論見は、現代社会の姿を鋭く映し出した作品を集めること。イスラエルの振付家ヤスミン・ゴデールの『ストロベリークリームと火薬』は、政治と表現の関係を見つめたいとい



スリーポイント  
「ベケットライブ」

市村氏の言葉のとおり、注目の作品の一つに思える。暴力と政治が日常として生活の中に入り込んでいるイスラエルの日常が、ダンスという形でどのように具現化されるのか、それが我々の目にどのように映るのか。クウェートからやってくるスレイマン・アルバッサームシアターも含め、我々が普段目にする少ない中東地域の作品を集めているのも、この芸術祭ならでは。また今回、アメリカの現代戯曲を日本の演出家が演出するリーディングプログラムや、ベケット作品を一人芝居で舞台化するプログラムなど、「翻訳」というテーマを改めて考えさせるような作品も目につく。提携公演である「1.18 サイコシス」では演出家と戯曲を結びつける「ドラマトゥルク」という役職を積極的に起用するなど、翻訳という作業に限らず、広く戯曲や作品の素材となるテキストにどのように向き合うのかという問題意識も含まれているようだ。いろいろ意味で、日本の演劇界に対して問題提起を含むのはこの芸術祭の大きな特徴だ。このように古くと非常に専門的で難解な内容のように思われてしまいそうだが、個人的には広く色々な人に親いていただきたい、お勧めのプログラムが揃っている。（小笠原幸介）

■前回岸田戯曲賞最終選考にも残った東憲司が主宰する劇団棟敷童子。『風来坊吉神屋敷』（10/15～30 北区・飛鳥山公園内特設天幕劇場）は、劇団員が一致団結して創り上げた（作サジキドウシ）見応えたっぷりの痛快娯楽時代劇となっていた。物語は、かつて、この日本で生贊や人柱として育てられた子どもである「阿呆丸」をモチーフに、その「阿呆丸」の到来を待ちわびる山村の民と、生贊の儀式を阻止しようとする「柱崩し」

の山賊、そして生贊の風習を生む元凶である龍神信仰そのものを治水技術によ



棟敷童子

て粉碎しようとする浪人の、三つともえの闘いを描く。あたかも国枝史郎の伝奇ロマン小説を彷彿とさせるような世界観に、小山ゆうのマンガ『あずみ』や泉鏡花の『夜叉ヶ池』、黒澤映画『用心棒』などへのオマージュを叩き込みながら換骨奪胎し、稗史を通して従来の歴史観や倫理觀を転覆させてみせた。その設定の奇抜さ、プロット立ての確かさ、古語・古典文法を多様化したセリフの妙に加え、演技面では看板女優・板垣桃子の進境著しく、小劇場界の新たなスターの誕生を実感した。他の劇団員それぞれの見せ場も光っており、南谷朝子、岡島博徳ら客演の実力派俳優たちも氣を吐いて、寒中にも関わらず特設テントで本水を使った大立ち回りを熱演。アングラならではのスリリングな快作に、芝居の醍醐味を堪能した（堤広志）。

新作情報／1950年代の炭鉱街を舞台に繰り広げられる人間模様。

第16回下北沢演劇祭参加『泥花』…明日二、咲ケ！  
2月10日(金)～19日(日)於・下北沢サ・スズナリ

# 既成の表現を捨て、固定観念を解き放て。 OM-2+自動焦点の演劇的冒険、始動

公演をする側が金銭を受け取り、観客は観るということで消費をする。そうしていれば、演劇という商品の取引が成立したと考える人は多いようです。その眞偽はともかく、では、商取引が目的ではない演劇はどういったものでしょうか？

この問い合わせの答えにはならないかもしれません、取っ掛かりになる演劇が私の目の前にあります。私は今度公演するOM-2に俳優として参加し、稽古場に顔を出しているうちに考えたことのいくつかを参考までに書きたいと思います。

OM-2の公演は商品として観るのと、商品として作ってない稽古を見るなどで大きく変わってきます。商品として観たときは、通俗さと芸術っぽさが半ば、過激に見えるパフォーマンスや大きな舞台装置に鼻白んで、

こういうの好きな人は好きだよねという感想が芽生えたりもします。まるで、普段見慣れない食品を買って食べた感想です。

OM-2の稽古では商品として成り立たせようとした努力は徹底的に破棄され、商品化する為の道は塞がれています。金銭で交換

可能なものはなくなっています。俳優が持ちえるただ一つのものを提示することが求められています。感情を表現する為の演技形式や、説明する為の段取り、美しく見せる為の技術、意識的無意識的にしてしまう舞台上の所作を排除していくことが念頭に置かれています。その稽古場では、舞台表現の為に用意してきた便利な「道具」、舞台から人を説得する為に用いられてきた「道具」が使えないのです。しかし、経験のあるなしにかかわらず、殆どの人が観るにしても演じるにしても一度目にしたものを基準にして、演技ってこうじゃないか？という観念にしたがって模索するものです。感情を出すところではそれっぽい感情表現をして巧拙を競い合うのです。少なくとも、何らかの商品価値を生み出すという目的のもとでは。

「道具」と観念を排除してしまえば、何をどうしたらいいのかまるで分らなくなってしまいます。そして、何をどうしたらいいのかまるで分らなくなってしまったといふところから、OM-2の稽古は始まっています。このとき稽古場は、制約のない、しかるべきのない自由な場所として目の前に展開します。この自由は説明が難しい。その場所に立ち向かう俳優の頭に浮かんだ自由の絵図は、きっと自由に対する思い込みに過ぎず、自由だと思える一形式でしかないからです。きっとそれは自由とは違う別のものでしょう。

このことから考えるに、OM-2の公演は、それが商品であるとか、消費物であるという考え方を捨てて観ることが大切だと思いますが、実際、公演では稽古のようにはいかず、公演する側もどこか商品化してしまうくらいがあることから、観劇の制約、しがらみが排除されることも難しいことと思われます。これはOM-2の課

「作品 NO.4-リビング」  
3月24日(金)～28日(火)  
神楽坂 die pratz

OM-2



題でもあり、彼らに商品化を課してしまう現状の課題でもあるのでしょうか。最期になりましたが、演劇の目的とは何でしょうか？単純に公演だと割り切ることが出来なくなることが現状を変化させていくことなのかもしれません。

佐藤一茂（60億人の為の演劇《自動焦点》俳優

## OM-2 プロフィール：

真壁茂夫を中心とした87年に結成。以来、前衛的で実験的な作品を次々と発表。94年より海外公演活動を始め、ボルドー、NY、ワルシャワをはじめ、ヨーロッパ、アジア、アフリカなどの国際フェスティバルに数多く招請される。http://www.om-2.net

公演「作品 NO. 4-リビング」3月24日(金)～28日(火)

会場：神楽坂 die pratz

演出／真壁茂夫 テキスト／佐々木治己

出演／佐々木敦、中井尋央、柴崎直子、丹生谷真由子、村岡尚子、佐藤一茂、他

◎今回の作品は、若手劇団の「60億人の為の演劇《自動焦点》」の佐々木治己のテキストを下敷きにし、OM-2のメンバーと自動焦点のメンバーによるコラボレーション作品。



OM-2

## パレスチナ紛争の悲惨な現実を直視する、占領する側のダンス表現

ヤスミン・ゴデール振付

「ストロベリークリームと火薬」

3月1日～4日 にしづかも創造舎  
(東京国際芸術祭 2006)

世界のメディアによって表象され続けるイスラエルとパレスチナ。この地域を巡る問題はあまりに複雑で多層的であり、完全に中立的な立場からその歴史と現在を記述することは不可能である。だが、そこに暮らし、表現を続けるアーティストたちの視点からこの地域の現実を解体し、そこから派生するさまざまな問題を問い直すことくらいはできるかも知れない。そんな想いでこの地域のアーティストたちとの仕事を続けている。

2004年10月、在パレスチナ劇場、アルカサバ・シアターとの共同製作のため、舞台美術を担当した美術家・椿昇とはじめてこの地を訪れた。当時はアラブ議長が亡くなる直前で、聖地エルサレム周辺は極度の緊張状態にあった。それから1年後、イスラエル政府からの招聘で再訪したイスラエルでは、ガザ撤退後テロ攻撃が沈静化してきたという楽観的な見方から国内の緊張はだいぶほぐれていたものの、自爆テロは依然なくならず、厳しい占領政策も続いている。

この二度の滞在が私に残した強烈な残像は、イスラエル社会を支配する「セキュリティ」というスローガンだった。ホロコーストによって地球上から絶滅を迫られ、悲願の建国を果たしてもなお抵抗運動やテロの激しい標的になってきたイスラエル。自らを拡張することで生存を主張し続けていた強固なイスラエルが、今「テロリストの侵入を食い止める」ために建設中の壁は、他の者を排するため自らがその内側に閉じこもってしまうというある種の逆説を視覚化してしまっているように

さえ見える。ゲットーや監獄を想起させるこの「大なる壁の前でセキュリティのため」に他者に銃を向けるイスラエルの若い兵士たちから私が嗅ぎ取った匂いは、威圧や憎悪ではなく、疲労と諦めが入り混じった絶望的な痛みと弱さだった。

ヤスミン・ゴデール振付の『ストロベリークリームと火薬』を初めて見たとき、このイスラエル訪問で強烈に残った残像と心象が鮮烈に蘇り、私を根底から圧倒した。それは、私が現地で体験したさまざまな心理的・視覚的な断片が再編成されていくと同時に、パレスチナ・イスラエルという個別の状況を越え、人類の歴史から我々の日常にいたる、あらゆる暴力と関係性の問題を正面から突きつけるものだった。

ゴデールはこの作品をつくるにあたり、メディアに氾濫する写真をダンサーと共に選び出し、その写真から想起されるものをダンスとして再構築するワークショップを重ねていった。テロ直後の現場で恐怖のあまり硬直する女性、その脇に横たわる死体、検問所で銃を突きつけ相手を威嚇する兵士……それは我々が既にメディアによ



って刷り込まれた悲劇と暴力の瞬間である。既にメディア化された映像を過度に増幅し、微妙に変容させていくことでメディアの虚構を暴き、よりリアルなものを出現させるという手法は現代美術の分野では珍しい作業ではないだろう。しかし、ダンスという生のメディアを使ったこの作品は、パレスチナ・イスラエル紛争という「クリシェ」を出発点として、その表象を超えて、我々の生活にも潜むあらゆる関係性の暴力を暴き出す。メディアによる表象について執拗に問いかけるゴデールのこの勇気ある作業は、イスラエルから遠く離れた我々の目にどのように映るのだろうか。

「占領される側」のアートは、圧倒的な暴力や不条理に対する抗議を表明することで成立し得る。パレスチナの演劇はまさにそういったアートによる力強い抵抗であった。しかし「占領する側」イスラエルのアートは、いかにこの現実と向き合い、記述することが可能なのだろうか。今回招聘するヤスミン・ゴデール振付の『ストロベリークリームと火薬』は、この可能性・不可能性を巡り、考え続けることを放棄しない勇気ある作品であり、我々のこのような疑問と期待に答えてくれるものとなるだろう。

相馬千秋  
(NPO 法人アートネットワーク・ジャパン 国際プログラム担当)

ヤスミン・ゴデール

# バグダッドからの証言者、来たる。イラクで何が起きているのか。

IRAQ NOW! 2/13(月)~15(水)  
19:00~ ¥1,000  
ドラマリーディング+トーク+マイム  
◎タイニイアリス

このイベントに向けて、高名な劇作家であるミッサール・ガジと気鋭の若手作家で俳優のヤーセル・アブデル・ラアザックがバグダッドより来日。ガジとヤーセルの新作短編戯曲3本を翻訳し、日本人俳優が日本語によるリーディングを行います。また文化研修生として滞在中のイラク人マイム俳優アナス・アジールと、ヤーセル・ラアザック、日本人ダンサー公門美佳の3名が「オセロ」をベースにしたマイム作品「Ottero in Baghdad—僕たちには時間がない—」を上演。

アナスはマイムグループ・モスタヒールのメンバーであり、イラクの今を身体で伝えたいと張り切っています。演劇への深い熱意を絶やさぬ文化の国イラクからやって来る精銳たち。武装集団と米軍の戦闘止まぬ日常を生きる彼らの人間の体温と心からの叫びを伝える表現は、TV報道では判らない、フセイン崩壊後のイラクの人々の真実を伝えてくれるはずです。

Mithal Gazy (ミーサール・ガジ 創作家)…イラクとアラブの同時代を描く、最も注目の劇作家。ワファー・フェスティバル最優秀戯曲賞受賞(バスマ 2000年) ジャルシャ・アラブ創作賞最優秀賞受賞(2000年 アラブ首長国連邦) ムハンマド・タイムール創作戯曲賞受賞(2001年 エジプト共和国) 他受賞多数

リーディング参加俳優…田口精一(劇団民藝・新劇人会議)、

## ある日、太宰はipod nanoを買い、ひどく赤面した

劇団WANDERING PARTY  
「21世紀旗手」  
2月17日(金)19:00 18日(土)14:00  
&19:00 19日(日)14:00  
◎タイニイアリス

WANDERING PARTYとは~ 2001年同志社大学演劇サークル、第三劇場の出身者を中心に旗揚げ。今まで石川啄木や大杉栄などを主人公に、明治・大正時代を背景にした物語を上演。

### 【今回のあらすじ】

太宰は激怒した。必ず、かの暴虐邪知の文壇の老大家を除かなければならぬと決意した。太宰は、一介の文士である。小説書き、女と遊んで暮らしていた。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。ある女生徒が太宰に亮春を申し出た。迷った。「どうすんだよ、おっさん」しかし、君はまだ…? 太宰は、女生徒の耳穴を見た。「これ? ipod」聞けば、ハードディスクに音楽データを記憶させ、イヤホンから音が流れる仕掛けになっている携帯蓄音機だそうだ。米国製だという。太宰はまたも、激怒した。こんなものは、ウォーカーを流行させた東京通信工業社が出すべきじゃないか。いや、遅れをとった分シェアは低いと

アジア各都市をネットワークで繋ぐ新宿の小劇場  
**TINY ALICE** より最新ニュース  
~「ALICE FESTIVAL 2005」の公演から

美加理(クナウカ)、古川大輔(机上風景)、皮村 猛(マリ・ジ・ブルー)、北村耕太郎、笛岡洋介(東京芸術座・新劇人会議)



(写真)…Ottero in Baghdadの3名

## ALICE FESTIVAL

のことだ。米国に戦争で負け、今まで経済でも負けようとしている。僕に、「21世紀旗手」の原稿料。決心。太宰は、秋葉原にむかった。太宰は、走った。結果、最新の型で、薄くて軽くて、なにより可愛いipod nanoを買った。太宰はひどく赤面した。



## 温かい笑い一杯のチエーホフ作品3本立て!

### TAC三原塾「遊び心でチエーホフを!」「プロポーズ」「熊」「創立記念祭」

3/1(水)~3/5(日) @神楽坂die pratze 問=03-5376-1847 作=チエーホフ  
訳=中本信幸 演出=戸部和之 出演=田中芳拡 田辺衣子 坂浦洋子 KUMI

★TAC三原塾代表 田中芳拡(代表・役者)さんに聞く  
Q—TAC三原塾は、チエーホフを中心活動されている劇団だと聞きましたが、今までにどういった演目を上演されているのですか?

A—もともとは、チエーホフの書いた短編小説を、劇団員自らが脚色して80本以上上演してきました。忠実に筋を追う脚色だけでなく、時代や国を超えて大胆な発想で面白く取り組んできたので、日本だけでなく、海外でも結構好評だったんですよ。

Q—海外でも公演を行っているのですか?

A—ロシア公演を5回ほど行っています。特に、チエーホフも医者として滞在したことのあるサハリンでは、芝居の枠を超えた交流もあり思い出深いですね。ラジオストクの演劇祭では「三人姉妹」で最優秀賞をいただきました。

Q—有名な「桜の園」のようなチエーホフ大戯曲はあまり上演しないのですか?

A—もちろん、「桜の園」、「かもめ」等のチエーホフ大戯曲は全て、上演しています。特に、「ワーニャ伯父さん」の原型と言われる「森の精」は顧問の中本信幸先生(神奈川大学名誉教授)の翻訳で、本邦初演となりました。

Q—ずいぶん徹底しているみたいですが、どうしてチエーホフにそこまでこだわるのですか?

A—一枚切り型でなく、本当に人間の素晴らしい部分を描いていると思います。芝居を創っていると、だんだん優しい気持ちになってくるのが魅力かもしれませんね。

Q—では、チエーホフ以外の作品は上演しないのですか?

A—いえ、今までにも日本近代古典の名作、岸田國士、真船豊先生の作品にも取り組んでいます。これからも、チエーホフだけでなくこういった名作を掘り起こして挑戦したいと思ってます。

Q—今回の公演はチエーホフ笑劇3本立てですね。どうしてこの3本なのですか?

A—実は、一昨年に主宰・演出家の三原四郎を亡くしましたが、その遺志を継いで、さらに自分たちが新しく一步を踏み出すために、有名なチエーホフの短編戯曲、「プロポーズ」「熊」「創立記念祭」を選びました。人間がそれぞれ色々な環境で一生懸命生きていて、それが外側から見ると面白くて悲しい。そんなものを目指して頑張っています。

Q—ところで、一昨年急逝された主宰の三原四郎さんはどういった方でしたか?

新しい演劇を発信する神楽坂と麻布の小劇場  
**DIE PRATZE** より最新ニュース

A—三原先生は、いつも一生懸命であたたかい方でした。よく飲み、よく語り、月並みな言葉ですか、若い僕たちと本気で芝居を創っていました。競馬、競輪も大好きで「当たったら小屋代払ってやるから~」ってよく言ってましたけど(笑)。

Q—チエーホフという、堅いイメージがありますが、とても明るくて気さくな田中さんでした。公演頑張ってください。

A—僕たち、単純ですから。「遊び心でチエーホフを!」を合言葉で頑張ってきました。是非、皆さん楽しみにいらしてください。

## JOIN IN THE PICNIC 期待の公演情報

◆神楽坂die pratze  
2/20(月)~2/21(火)  
IQ5000

[ASCEND-04 標高8848M]  
問=090-4223-8854 E-mail

=ticket@almondeye.com  
WEB=http://www.iq5000.com

◎ヨージ・マロー。彼はエベレストに登り行方不明になる人類で初めてエベレストに登ったのかどうか? 今なお残る登山史上の謎を解く冒険の物語



◆麻布die pratze  
2/23(木)~2/26(日) 銀色金魚  
『西暦001年、ジーザス・プロジェクト』  
問=080-3380-1707(銀色金魚保護委員会)

作・演出=賀茂咲子 出演=原田明希子  
ケイ 湯川昌代 横野泰一他

◎「良い物の事ばかり考えてから腹が減るんだよ。神とかさ、良く判らねえもの考えてた方が気が紛れるだろ!」これは、ただの男を神に仕立てたプロジェクト。



写真右…主宰・演出家 三原四郎(2004年10月7日没 享年65歳)  
日大芸術学部中退・舞台芸術学院卒。  
下村正夫氏に師事し、青年芸術劇場・文学座・浅草コメディアン等遍歴。  
昭和43年、演劇団「日本」旗揚げ、アングラ劇で活躍。  
昭和63年、TAC三原塾創立。

写真左…主役・演出家 三原四郎(2004年10月7日没 享年65歳)  
日大芸術学部中退・舞台芸術学院卒。  
下村正夫氏に師事し、青年芸術劇場・文学座・浅草コメディアン等遍歴。  
昭和43年、演劇団「日本」旗揚げ、アングラ劇で活躍。  
昭和63年、TAC三原塾創立。

# 隆盛を極めた世界都市から、戦禍の今へ。 時空を超えてバグダッドの地に とどろく、ある異端者の反逆の叫び。



3月10日～16日「カリラ・ワ・ディムナ」スレイマン・アルバサーム

(作・演出 日本、イギリス、クウェート国際共同製作作品)

◎にしそがも創造舎特設劇場 東京国際芸術祭2006参加作品

「アル・ハムレット・サミット」で日本の演劇界に衝撃を与えたアラブ演劇の若き旗手スレイマン・アルバサーム。現在クウェートを拠点に活動するこの気鋭の若手演出家・劇作家が、日本、イギリス、クウェートの国際共同製作による新作を携えて再来日をはたす。舞台はアッバース朝創世記のバグダッドから始まる。

スレイマン・アルバサームが舞台化する、カリラとディムナという二匹の山犬の名を冠したアラブの動物寓話は、ギリシア起源のイソップ物語とは対照的に、日本ではあまり知られていない。ましてやインドで編まれ、ペルシアに伝わった「パンチャタントラ」を、アラビア語に翻訳・翻案した「カリラ・ワ・ディムナ」の作者アブダラー・ブスル・ムカッファイは、「神の僕にして萎縮した者の息子」なる人物に及んでは、まるで知られていないに等しい。

だが君臣論として記されたこの寓話は、「今昔物語」のように今も中東文化圏の生活の中に生きる恵みとして息づいている。そしてペルシアのマワリー(改宗してムスリムになった非アラブ人)、あるいはジンディーク(表向きムスリムでありながら、ゾロアスター教やマニ教を信仰する人)とされる異民族、異教徒のムカッファイが、華々しい出世と表裏の禍々しい拷問によって三〇代半ばで散るまでのドラマティックな生き様は、ムハンマドの血を引く一族が互いの血を血で洗ったアッバース朝創世紀の恐怖政治と絡めて、歴史として記憶されている。

ムカッファイの生涯については謎が多く、その著作と同様に各時代の政治的、宗教的、言語的要求によって加筆、修正、削除、簡略化さらには神格化と様々な変容を被ってきたために推定の域を出ないが、ウマイヤ朝治世下の七二〇年頃、川ベルシア帝国サーン朝貴族の家に生まれたと伝えられている。地租徴税官をしていた父は、公金横領の疑いで拷問にかけられて片手が萎えていた。父の異名と同時に片手を落とされる悲運をも選び取ったかのムカッファイは、幼少時から言語の才能を發揮し、ウマイヤ朝宮廷でも名文家として重用されている。七五〇年のアッバース革命後、為政者の在り様をより根底から変革すべく新体制に乗り込み、動物の仮面と言葉を巧みに操って書記官、顧問官とカリフに進言する地位を築きながら、無残にも処刑されている。

この歴史的・人物と古典的寓話を共鏡として照らし合わせながら、歴史・物語のさらなる書き換えに挑むアルバサームは、劇中劇として「カリラ・ワ・ディムナ」の白眉である「ライオンと牛」に纏わる寓話中寓話を引用し、ムカッファイの劇的人生をメタシアトリカルに描き出す。ある話に別の話が重層的に入り込むインドペルシアの枠物語の構造とコーランを誇るアラブ詩の伝統を融合させた説話集は、君主の鑑ではなくその獸性と作者自身の悲運を映し出す鏡となり、寓話・芝居・運命・政治・歴史は複雑かつ皮肉な入れ子構造を呈し始める。一々する賢い山犬ディムナがライオンの寵愛を得た牛シャン

ザバに嫉妬し、牛はライオンに反逆しているという偽りの進言をして、牛を殺させるという寓話は、権力欲に憑かれたアルマンスールの取り巻きによって曲解され、ムカッファイの意図を超えたおぞましい結末を招いてしまうのだ。

古の都バグダッドの興隆という光に、その破壊と「再興」という影がつきまとう現代版「カリラ・ワ・ディムナ」は、單なる悲観主義には陥らない鋭い批評精神を備えた現在進行形の寓話となっている。血に塗れた政治と宗教の渦中に巻き込まれ、自己矛盾に苦しむながらなお正義と神の愛を求める「異端者」は、ベンで己の喉元を裂いて血で言葉を記したが如く、「王子たちの鏡」もろとも碎け散る。しかしながらその鏡の破片は、ベンで剣に抗うすべての者に掲げられていると示唆するのだから

エグリントンみか(翻訳／英国演劇・批評)

## 【参考文献】

イヌ・ル・ムカッファイ著、菊池淑子訳、「カリラとディムナ アラビアの寓話」、平凡社東洋文庫331、1978年



S・アルバサームならではの、知的でスタイリッシュな演出、洗練された舞台空間や美しいライブ演奏の中に、詩的で暗示的なテキストが乱反射する。出演はイギリスの俳優陣。

## TINY ALICE / NPO ARC

新宿区新宿2-13-6 光亜ビルB1 tel&fax 03-3354-7307  
<http://www.tinyalice.net>

2/9(木)～2/12(日) ■ ネコシリ演劇社

「ハッパスダアダアさようなら」 問=03-5497-6201(しらたま工房) ☆作・演出=よしだよしの ☆出演=柴田美実 渡那悦子(シスター・キューブリック) 和田奈美子 石川学(演劇俱楽部「座」) ○今回的作品は、誰にでもある忘れない思い出をテーマに、仕事・生活・人・社会・忙しさぎる時間の中で、今を生きる人達に少しでも立ち止まって見てほしいパートフルなショートストーリーです。

2/13(月)～2/15(水) ■ タイニイアリスProject アリスフェス'05参加 「イラクNow!」 Drama Reading+アフタートーク+マイム 問=03-3354-7307(タイニイアリス) ☆Mithal Gazy(イラク劇作家) Yasser Abdul Razzaq(イラク劇作家) Al momamen Abdalla(訳) ☆出演=Anas Abdul Samad Ajil(Al Mostaheeb Group) Yasser A. R.ほか ○パクタットから劇作家を招き、その作品を翻訳して日本の俳優たちが Drama Readingをする。

2/17(金)～2/19(日) ■ WANDERING PARTY アリスフェス'05参加 「21世紀旗手」 問=03-5644-2776 ☆作・演出=吾郷賢一 ☆出演=高杉征司 金本健吾 中村健 森本奈津子 河合宏友 ほか ○「Keep Smile」をキーワードに活動し、笑顔を糧に、生きる勇気が伝播する作品を創造する集団です。人と人の関係性から生まれる会話や表情の面白さを追及するなど、人間ドラマを大切に描きます。

2/24(金)～2/27(月) ■ エレファンツ・ムーン

「John and Jane Doe Company」 問=080-3174-8155 ☆作・演出=マキタカズオ三 ☆出演=永山智啓 酒巻善洋 竹岡真悟 墓井鶴子 渡辺美津子 種延隆之 鈴田エンキチ ○この事務所の名前はJohn and Jane Doe Companyといいます。職務内容は殺人現場、自殺現場などの清掃である。

2/28(火) ■ 桜会

詳細未定

3/3(金)～3/5(日) ■ 東海大学演劇研究会

「お帰りなさいませ、御主人様!」 問=090-6154-3789(大塚) ☆作・演出=白瀧尚子 ☆出演=松井友香 手塚麻美 荒木昌代 南須原祐介 向後広美 三浦一也 今村鷹行 石工大輝 漆英雄 每田辰太 ○久方振りのオリジナル戯曲は笑いあり、シリアルス有りの感動巨編(?)。前売券ご購入者には素敵な得点有ります。

3/9(木)～3/12(日) ■ テッドストックユニオン

「箱のゆくえ」 問=090-1454-5732 ☆作・演出=渡辺熟 ☆出演=志賀政信 江藤修平 大貝礼 里井ひさし 菊池敏弘 岡本真生子 赤星アメ 手塚洋子 佐藤裕子 友成陽子 吉岡友見 白鳥光治 山口雅美 葵地芽衣子 石坂怜 ○昨年、演劇ユニットとしてスタートしたニートニクは今年劇団となりました。ボップでスピード感のある作品作りにみかきをかけます。

3/15(水)～3/19(日) ■ 池の下

「狂人教育」 問=080-3389-7967 ☆作=寺山修司 ☆演出=長野和文 ☆出演=井上美千代 いすみスミオ Kumi 麒井雄一郎 二面白希 張替真射子 鳴沢瑞恵 石橋正生 深井邦彦 渡辺健太郎 川上吏永 橋千里 ○寺山修司全作品上演計画を展開して評判の池の下が、久し振りにアリスに登場。お見逃し無く!

## 神楽坂 die pratze

〒162-0812 新宿区西五軒町2-12 T&F 03-3235-7990

2/3(金)～2/5(日) ■ 荒野

「沈める日」 問=080-1164-2942 ☆作・演出=藤田朋子 ☆出演=富川幸江 平間美賀 石田裕次 松永有美子 松満智子 雷時雨 他 ○父が起こした沈没事故から20年。私は未だに沈んでいる。浮びたい! いや浮ばれない! いつかは浮かれない。だから私は嫁にいく。持参金は1億。有頂天になりたい。

2/6(月)～2/7(火) ■ 中西レモン企画  
「少つとした舞・踊の祭典 豊半暁 vol.6」 問=rero2remon@hotmail.com

2/10(金)～2/12(日) ■ 演劇団 豊会

「六日の菖蒲・十日の菊」 問=080-5678-7090 ☆作=高橋朋子 ☆演出=豊会 ☆出演=高橋朋子 内海詩野 川島めぐみ 他 ○莫大な遺産を相続する美しき姉妹に与えられた条件は、おかしな館に住む妻と毒にまみれたゲイたちに認められることだった姉妹がそこで見つけたものとは…?

2/13(月)～2/15(水) ■ 第13回日本国際バフォーマンス・アート・フェスティバル(ニバフ06) 東京一名古屋一京都一長野 東京公演 問=090-1652-9127 E-mail:nipaf@avis.ne.jp

☆主催=日本国際バフォーマンス・アート・フェスティバル(ニバフ) 実行委員会(代表=霧田誠二) ☆出演=テイリン(ミヤマーマー) ワタン・ウマ(台湾) ング・フ オンチャオ(マカオ) モニカ・ガルシア(アルゼンチン) ブライアン・バターソン(北アイルランド) ジヨバンニ・フォンタナ(イタリア) 他 ○海外12名程度、国内18名程度。毎晩出演者が違います。

2/17(金)～2/19(日) ■ CALLSLOWS

「THE FAMILY RESTAURANT」 問=090-6109-2115

☆作・演出=摩童雅子 ☆出演=小西深介 中西紹梨佳 寒川保吉友美 富真道 駒子 他 ○家庭—最後の頬みの綱として語られる場所。二十四時間営業中。アンブローズ・ピアス(アメリカのジャーナリスト・小説家)

2/20(月)～2/21(火) ■ IQ5000

「ASCEND-04 標高B848MJ」 問=090-4223-8854 E-mail ticket@almondeye.com WEB: <http://www.iq5000.com> ☆作・演出=マツ井前斎 ☆出演=IQ5000

2/24(金)～2/26(日) ■ RAN de MAN

「THE ROCKY HORROR ROMEO & ALICE」 問=03-3904-6685 ☆作・演出=鷲倉京平 ☆出演=志賀裕一郎 阿部みさと 阿部隆之 環ゆら 佐山智広 佐藤恵子 他 ○彼女を残して突然蒸発した恋人を忘れられず日々を送っていたアリスは、新興宗教を名乗る謎の男にもらった奇妙な液体を飲んだ瞬間、妖艶な世界に迷い込む…

2/27(月) ■ LUNE NEO PERFORMANCE 2006

「EROTICA 後編」 ○Sold out 次回までお待ち下さい。

3/1(水)～3/5(日) ■ TAC三原塾

「遊び心でチエーホ夫を」「プロボーズ」「熊」「創立貿易祭」 問=03-5376-1847 ☆作=チエーホ夫 ☆訳=中本信幸 ☆演出=戸部和之 ☆出演=田中芳恵 田辺衣子 坂浦洋子 KUMI ○チエーホ夫喜劇三本立て! 可愛い女に、愛すべき男達…新たに出発するTAC三原塾が、温かい笑いをお届けします。

## 麻布 die pratze

〒106-0044 港区東麻布1-26-6-2F T&F 03-5545-1385

2/1(水)～2/5(日) ■ ひげ太夫

「南獣トウゲ」 問=090-3503-0108(ひげ太夫) ☆作・演出=吉村やよひ ☆出演=吉村やよひ 成田みわ子 みそ 田嶋蘭子 永井ひとみ 林蘭子 ○久々、中華物。商の方の守り神、南獣さま。その姿は乙女、ムジナ、牛の生えた大熊など諸説有り。国の危機を救う為、さる勇者が南獣さまを訪ねるが…

2/10(金)～2/12(日) ■ 東京シアターツリック

「3周年記念公演“eternal Life”」 問=03-5934-7820(G.E.T.プロジェクト) ☆作・演出=福地聰明 ☆出演=米山勇樹 本尾昌則 古宇庄謙 剣拳 明石麻弓 越中承蔵 ○3周年を迎えたTTT。挑戦の2年目を経て、原点回帰をテーマに贈る意欲作。見ているだけで楽しめるアクションエンターテインメント。

2/16(木)～2/19(日) ■ CARNIVAL-1

「東京X-DAY ~アーティストハルカス~」 問=090-6183-4221(制作) ☆作・演出=村越文明 ☆出演=星雲 寺尾昌也 森川英一郎 山本祥平 中里正行 他 ○壊滅した都市に僕は立ち入り、めぐるしい街に私は何んです。終末世界に刻まれるXデーターへのカウントダウン! WE ARE ALL ONE—今、冒険は始まる…。

2/23(木)～2/26(日) ■ 銀色金魚

「西暦2001年、ジーザス・プロジェクト」 問=080-3380-1707(銀色金魚保護委員会) ☆作・演出=賀茂咲子 ☆出演=原田明希子 ケイ 濑川昌代 横野泰 他 ○「食い物の事ばかり考へてから歯が減るんだよな、神とかさ、良く判らねえもの考へた方が気が粉れるだろ?」これは、ただの男を神に仕立てたプロジェクト。

2/27(月) ■ ダンスの犬 ALL IS FULL

「裂けて行く月Ⅱ」 問=047-447-0073 ☆作・演出=深谷正子 ☆出演=岡田隆明 鏡屋憲治 成田優美子 斎藤直子 玉内集子 ○5人の作り出す場から、複雑にからみ合う個の不思議なぶつかり合いを、動体というキーワードで引き出して行く。「コント」の空気が「サケメ」へと流れます。

3/2(木)～3/5(日) ■ ACT project Raccoon Dog

「ACT project Raccoon Dog VOL.IX 「Bye-Bye GAME」」 問=03-3420-9490 ☆作・演出=POCHI田中 ☆出演=白川空司 桃乃すも 駒飼潤オイル 真我佐助 山口晴志郎 ○ACT project Raccoon Dog結成6周年記念公演。とある単線鉄道の電車の中で繰り広げられるハートフルシチュエーションコメディーの決定版!!